

防災とは、災害を未然に防ぐために行われる取り組みのことを言います。自分の住んでいる地域が、どのような災害が起きやすいのかを事前に知ることが大切です。各市町村が作成しているハザードマップを日頃から意識して、避難する道や避難場所を確認しておきましょう。災害が予想される時は、少しでも早めに避難をし、命を守りましょう。



DISASTER
PREVENTION

みんなで防災・減災に取り組もう。

ハザードマップには、予想される浸水の深さ、土砂災害の危険個所などの表示や避難する場所が紹介されています。各市町村から配布されたハザードマップやホームページを見ておくことも防災の取り組みになります。さらに、市町村から発表される避難情報と、5段階の警戒レベルの防災情報を地域で伝え合いましょう。

● 避難情報等

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令
全員避難！ 警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告・避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令
高齢者等は避難 警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備 高齢者等避難開始
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報

● 防災気象情報

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報
洪水警報 等

※防災気象情報は、国土交通省、気象庁、都道府県が発表。

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

警戒レベル3で避難に時間を要する人は避難を！

避難に時間を必要とする人は、どのように避難するのか、協力してくれる方はいるのかなどを日頃から考えておくことも必要です。一人で考えず、地域の方などと話し合いをして、避難訓練もしておきましょう。**家族だけでなく、近所・地域とのコミュニケーション**をとることを意識することは、いざという時の大きな助けになります。

防災情報を共有しよう！

防災情報はテレビ、ラジオ、インターネット等で発信されますので、大雨や台風、大規模な地震などの時は、防災情報に触れることができるようにしておきましょう。また、その情報を近隣の方にも伝えましょう。

院長のコラム COLUMN 「コロナと防災」

2020年は新型コロナウイルス感染症が、災害時の避難行動に影響するのではないかとされています。避難所は「3密」が避けられない感染リスクの高い場所になるからです。しかし、感染を恐れて避難しないのではなく、避難が必要な方は避難所だけでなく、安全な友人・知人を頼ることや、マスク、手指消毒薬を持参するなど、安心して避難できるように日頃から感染対策を行いましょう。